近木野中哉
CHUYA KOGINO

コーヒー党です。
特に仕事中は一日平均8杯くらいのコーヒー漬けですが、夜眠れなくなるとかは、まったくなかった。むしろいつでも眠たいです。

GANGAN COMICS

とある魔術の禁書目録 インデックス 8

原作 鎌池和馬
作画 近木野中哉
キャラクター原案 はいむらきよたか

8

GC

とある魔術の禁書目録 インデックス 8

原作 鎌池和馬
作画 近木野中哉

SC 1010

ISBN978-4-7575-3223-6
C9979 ¥419E
雑誌48123-91
定価：本体419円＋税
SQUARE ENIX.

GC ガンガンコミックス

Index Librorum Prohibitorum ☆ Index Librorum Prohibitorum

Index Librorum Prohibitorum

8

原作／鎌池和馬
作画／近木野中哉
キャラクター原案／はいむらきよたか

GANGAN COMICS

GC ガンガンコミックス

SQUARE ENIX

とある魔術の禁書目録 インデックス 8

とあるましゅつのインデックス

原作／鎌池和馬　作画／近木野中哉

キャラクター原案／はいむらきよたか

とある魔術の禁書目録⑧ 目次

Index Librorum Prohibitorum

#39	カザキリ ヒョウカ	003
#40	幻想は壊されない	047
#41	新たな標的	079
#42	陽炎の街	099
#43	エリス	129
#44	明日、また	165

カチッ
カチカチ
…な
何…これ…
いや……

#39
カザキリ ヒョウカ

とある魔術の禁書目録インデックス

とあるまじゅつのインデックス

いあぁあ
あぁアァ!!

風斬!!

キーン
ニャ

かぎっ……
あ…あ
……うあっっ
あ

ア
あ
あ
あ
あぁぁ

エリス
かざ…きり
?
ズ
面白い
行くぞ
エリス
無様で
滑稽な狐を
狩り出しましょう
てめえ！
待……

どうわ!?
ぷわっ
ゲホッ
くそっ…
風斬を
捜さねェと…

風斬
自分の
あの姿を見て
おびえていた
あれは風斬の能力
じゃねェのか？
それとも
あいつ自身が
自覚していない
能力者なのか？
そもそも あいつ
あのままで
大丈夫なのかよ
傷の治療
ったって…
どうすりゃ
いいんだ!?

あ――くそっ
何にも
わかんねぇ！
こういう事で
相談できるのは
やっぱあの人か
ピカ
ひょっとして
捕獲作戦がらみで
電波妨害
されてんのか？
…っと中
アンテナは…
ウロウロ
あれ？
まただ
RRR
もしもし
小萌先――
上条ちゃん!?

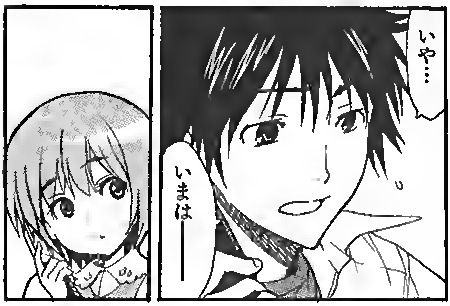
やった
やった――
ようやく
つながったです――

先生何度も
電話したんですよ
ちょっと大事な
お話があるのです
先生！
悪いんだけど
先にききたい事
があって

カザキリ
ヒョウカさん
について
!!

風斬？
小萌先生
何か知ってるん
ですか!?
姫神ちゃんから
ききました
食堂で
上条ちゃんたちと
いたコが
カザキリヒョウカさん
だって

カザキリさんは？
いつしょなの
ですか――？

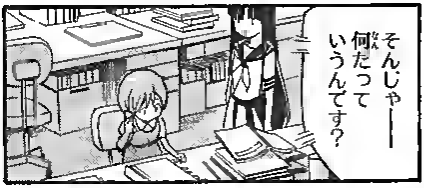

いや…
いまは――

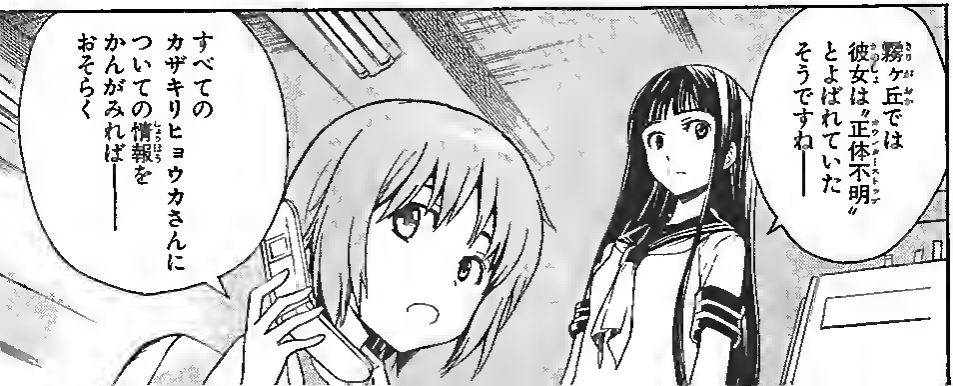
なにかあったみたいですね——
上条ちゃん
調べてみたら学校の防犯カメラにはカザキリヒョウカさんは一切映っていませんでした
え？

シスターちゃんの隣に座っていた彼女はどこから侵入してきたんでしょうね——？
食堂からいなくなった時も何の前ぶれもなく突然姿を消してしまったように見えました

そうですね——発電系や空間移動の能力者にはそういった事が可能な人もいるかもしれませんけど
先生はカザキリヒョウカさんは能力者の類ではないと考えています——

能力者じゃ……ない？


そんじゃ——何だっていうんです？


霧ヶ丘では彼女は〝正体不明〟とよばれていたそうですね——
すべてのカザキリヒョウカさんについての情報をかんがみれば——おそらく

彼女は人間ではありません
AIM拡散力場
これが深く関わっていると思うのですよ
ドン
ぐ……う
バキ
バキ

ビリビリ

AIM？
それって今朝いってた…

です
です
能力者が無意識の内に放ってしまう力のフィールドの事ですね――

上条ちゃん
人間って機械で測ったらいろんなデータが採れますよね？
質量や重量からはじまって酸素の消費と二酸化炭素の排出
生体電気の発生
熱の生成…などなど…

あくまで推測なのですけど
それら人間らしいデータが全て揃ったとしたら
そこに「人間」がいる事にはなりませんか——？

な…に
学園都市二三〇万人の八割は様々な能力者です

彼らは常に無意識の内に微弱な力を放出してしまう
一人一人は些細な力でしかなくても

それがいくつも重なり合って
一つの意味をなすとしたら？
発火能力者が体温を作り
念動力者が肌の感触を作り
音波能力者が声を作り
それこそがカザキリヒョウカさんを作っている
基盤だとしたらどうでしょうか

人がいるから体温を感じていたのではなく

体温が計測されたからそこに人がいると思い込んでいただけだとしたら――？

不完全なカザキリヒョウカさんの目撃談は昔からあったそうなのです――

おそらく当時の彼女は幽霊みたいに曖昧な存在だったのではないでしょうかね――？

先生…

霧ケ丘にある「カザキリヒョウカ」と言われる研究室は"カザキリヒョウカ"さんというAIM拡散力場が生み出した物理現象を調べるための…

小萌先生！

待ってください

風斬自身はその事にまったく気づいてなかったみたいですよ!!

あいつが本当にそんな人間以外のモノだとしたら…おかしいじゃないですか!?

おかしいですか？

生まれた時から
ずっと自分が人間だと
思い込んでいれば
自分の存在に
何の疑問も
持たないはずですよ?
…そんな

——そんな事って
アリなのかよ
ヒドすぎるだろ
先生は
カザキリヒョウカさん
とお話しした事
ありませんけど
上条ちゃんの目から見て
どうでしたか——？
彼女はただそこに
佇んでいるだけの
命も心もない幻想にすぎません
でしたか？
簡単に失われて良い
ような軽い存在
でしたか？

あいつ
俺を心配して
追いかけて
きたんだよな

ちがう――！
そんな訳
あるか

自分の方が
標的にされるかも
しれねェのに

たとえ右手で触れれば
消えてしまうような幻想に
過ぎなくても
あいつが消えても良い
理由になんか
なってたまるか

それで良いのです——
うふふ
くれぐれも大事なお友達を泣かせないようにしてくださいね
上条ちゃん！
つは
ハア
きゃあ
スー

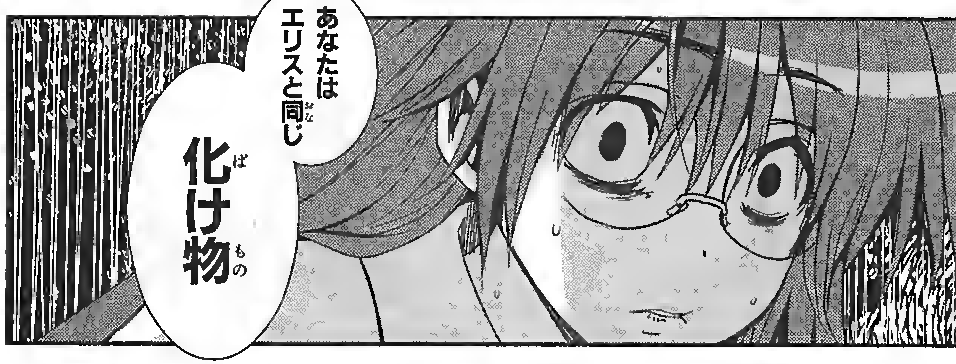
ひっ
!!
ガシャガシャ

はっ
はっ
はっ
ぴゅー
何なのかしらねぇ これ
虚数学区の鍵とか言われて どんなものかと思って みれば……
どぅ…してっ
こんな… ひどい事…っ…
何なのよう その顔はァ
ひょっとしてあなた 自分が死ぬのが 怖いとか言っちゃう 人かしら？
いい加減 気づきなさいってのいい加減

ここまでやられて
ピンピンしてる
テメェが
まともな
人間(にんげん)なはずが
ねェだろが！
ほら
トン

私があなたにしてる事ってこの程度でしょう？

これで
わかったでしょう？


あなたは
エリスと同じ
化け物

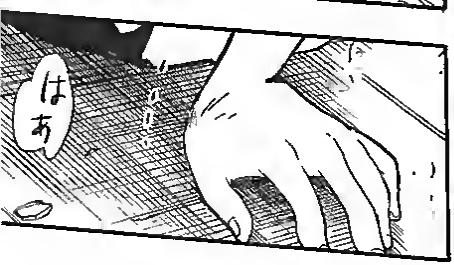
こんなものを後生大事に
抱え込むなんてね

あっはは！
ホント科学ってのは狂ってるよなあ!!!

くくく
しかしこれって殺すのも面倒臭そうね
なら試してみるか
ひき肉になるまでぐちゃぐちゃに潰しても元に戻るかどうか
ひっ

なーに顔真っ青にしてんだよ
それで保護欲でもあおってるつもりかあ？
化け物が壊れた程度で誰も同情なんかしねーっつうんだよ!!
うあっ

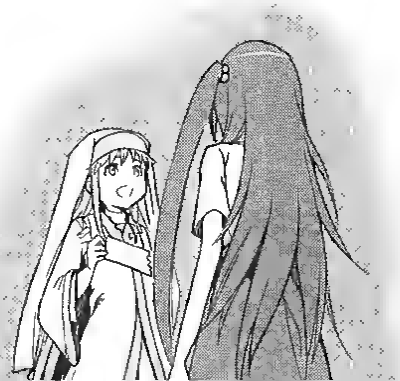
っ……


はあ

やれやれ…
この期におよんで
まーだみっともなく
逃げ回るつもりかよ
そもそも
逃げるったって
どこへ
行くの？
あなたみたいなのを
受け入れてくれる
場所ってどこかしら？
ゾク
わかんねェ
ヤツだなァ
いい加減
気付けよ

化け物の居場所なんて
この世のどこにも
ないって事を

今日
初めて
学校へ行った

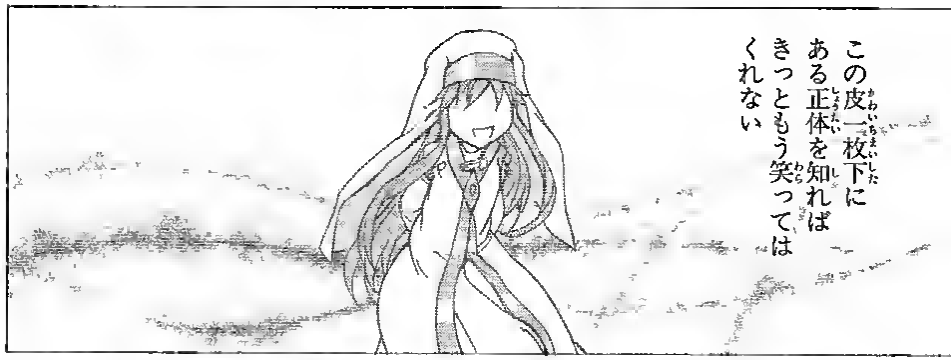


だから自分を転校生だと思った
男の人と話すのも今日が初めてだった
だからあの少年が何となく苦手なんだ、と思った
初めてみんなで遊びに出かけた
給食を食べたのも
自販機でジュースを買うのも初めてだった
はじめてはじめてはじめては

どうして気付かなかったんだろう

今日より過去が存在しないという事に

よくわかんなくても
ひょうかは友達だもん
初めて私を
友達だと
言ってくれた
あの子は


この皮一枚下に
ある正体を知れば
きっともう笑っては
くれない

ううっ
……
……

泣くなよ
化け物
アナタガナイテモ
キモチガワルイダケナンダシ

死にたくない
だけど
この先醜い
化け物として
誰にも必要と
されず
どこにも
居場所がない
のなら
このまま

ブシッ
待たせちまったみたいだな

とある魔術の禁書目録

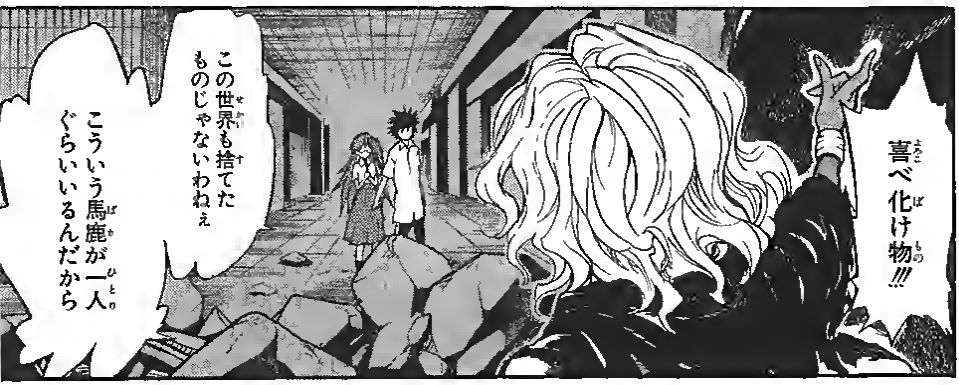
とあるましゅつのインデックス

＃40
幻想は壊されない

あ…ああ
つたくみっともねぇな
こんなつまんねぇ事でいちいち泣いてんじゃねぇよ
ガラメラ
ボン
エリス!?
エリス!
呆けるなエリス!!

…チィイ
殺されたところで
作り直せばすむ
だけの事!!!

はは
うふあはは！
少女の盾になる
ヒーロー様
ってかあ？ おい
一体何を食べたら
そんな気持ち悪い育ちするんだよ!!


喜べ化け物!!!
この世界も捨てた
ものじゃないわねぇ
こういう馬鹿が一人
ぐらいいるんだから

一人じゃねぇぞ
は？

こいつら…！
…どうして…？
…別に特別な事なんざしてねーよ
俺はただあいつらに言っただけだ

俺の友達を
助けて欲しいって
今からお前に
見せてやる
この世界には
まだまだ救いが
あるって事を

そして教えてやる
お前の居場所は
これぐらいじゃ
壊れはしないって事を!!!

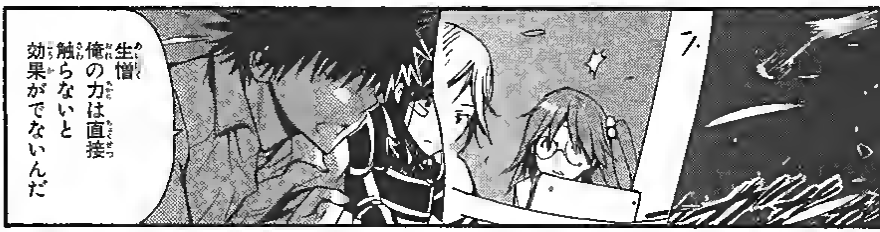
――エリス
ぶち殺せ
一人残らず!!
こいつらの肉片を集めて
お前の体を作ってやる!!!
配置B!
民間人の
保護を
最優先!!
ふせとくじゃん
お二人さん

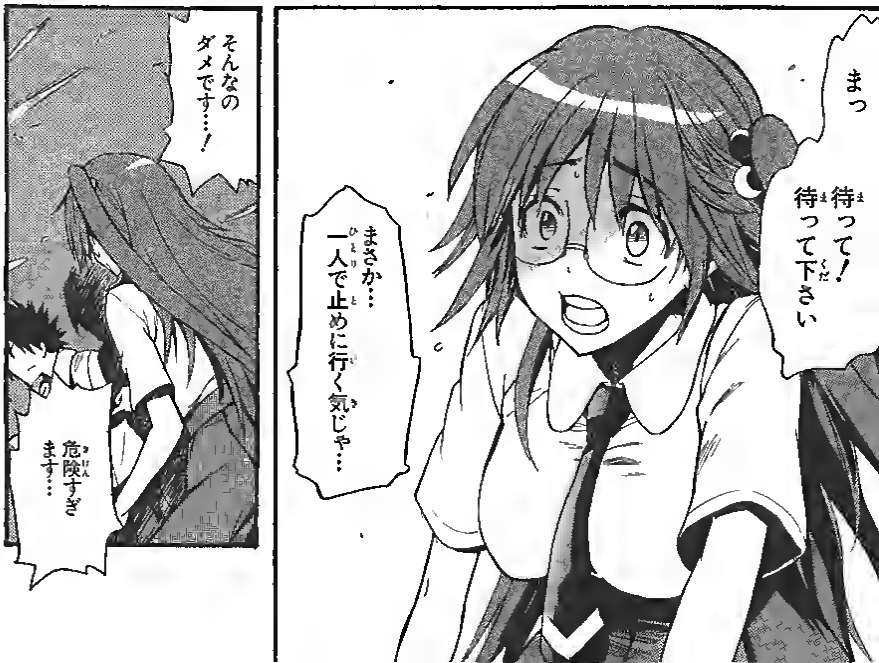
ガガガガガ
ガガ
ガガ
チイイッ
小煩い科学の犬どもめ!!

「神の如き者」
「神の薬」
「神の火」
「神の力」
四界を示す四天の象徴
正しき力を
正しき方向へ
正しく配置し
正しく導け!!

ズバ
ズズズ
くくくくく
足止めも長くは
もたねーか
ここまでは
予想通り
ってトコだな

少年
本当にやる気なの？
柿気づいたって言っても誰もとがめないじゃん？
んなきゃなんねぇってのが正しいけどな
アンタもさっき見たろ俺の右手の能力

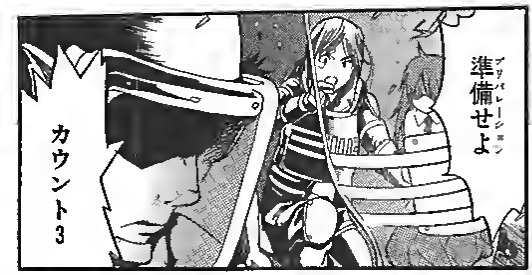

生憎俺の力は直接触らないと効果がでないんだ

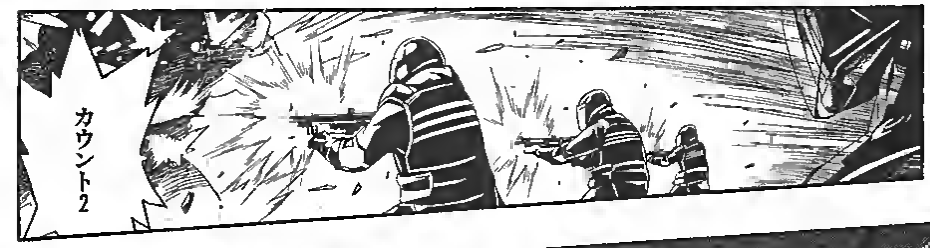

まっ
待って！
待って下さい
まさか…一人で止めに行く気じゃ…
そんなのダメです…！
危険すぎます…

止めんなよ
風斬
あのさ
お前が俺の事
避けてた理由な
この右手に
あると思うんだ
この右手は異能の力なら
善悪を問わず打ち消し
ちまうから
きっと
お前の事も
例外じゃない

そんなに気にするなよ
別に離れ合う事ができなくたって俺達が友達なのに変わりないだろ？
ホラ顔上げろって
俺は必ず帰ってくる
あ…帰ってくる…？
おう
またインデックス連れて三人でどっか遊びに行こうぜ

……
やっぱり小萌センセは
生徒に恵まれてんじゃん
無理
しやがって


準備せよ
カウント3


カウント2

カウント0

カウント1

HHHリィィィィィィス!!

ドドドッ
……ぐ

ってぇ～～～
あぶない…！

だめだ
この態勢で
幻想殺しを
発動したら
石像の残骸で
潰されちまう
くそっ…!!
どうすれば
いい!?

……チ！
さってと
動かして
みろよ石像を
盾がなくなりゃ
警備員も狙いやすく
なるだろうよ
撃て
撃て
少年を
援護しろ
はは
はは
なんたそりゃ！
これじゃお前だって
逃げられないじゃない

逃げる必要なんかねぇよ
テメェは黙って
チルノ流しゅーと
眠ってろ

よし
あとは石像を…
ふ
うふふ
!?

二体目を作る気か!?
うふふ
うふうふうふふ
できないわよ
二体同時に作って操る事などできはしない
無理に作ろうとしたところでぼろぼろどろどろ腐った泥みてーに崩れちまう…
けどなあ
そいつも上手く利用すりゃあ
こういう事もできんのさ!!!
なに…!!?

ゴゴゴゴ
くっそぉ!!
逃げられた
下に地下鉄の線路が走ってやがった

わっ
……
――どうやら約束はしっかり守られたみたいじゃん？
やるじゃん少年
ワラワラ

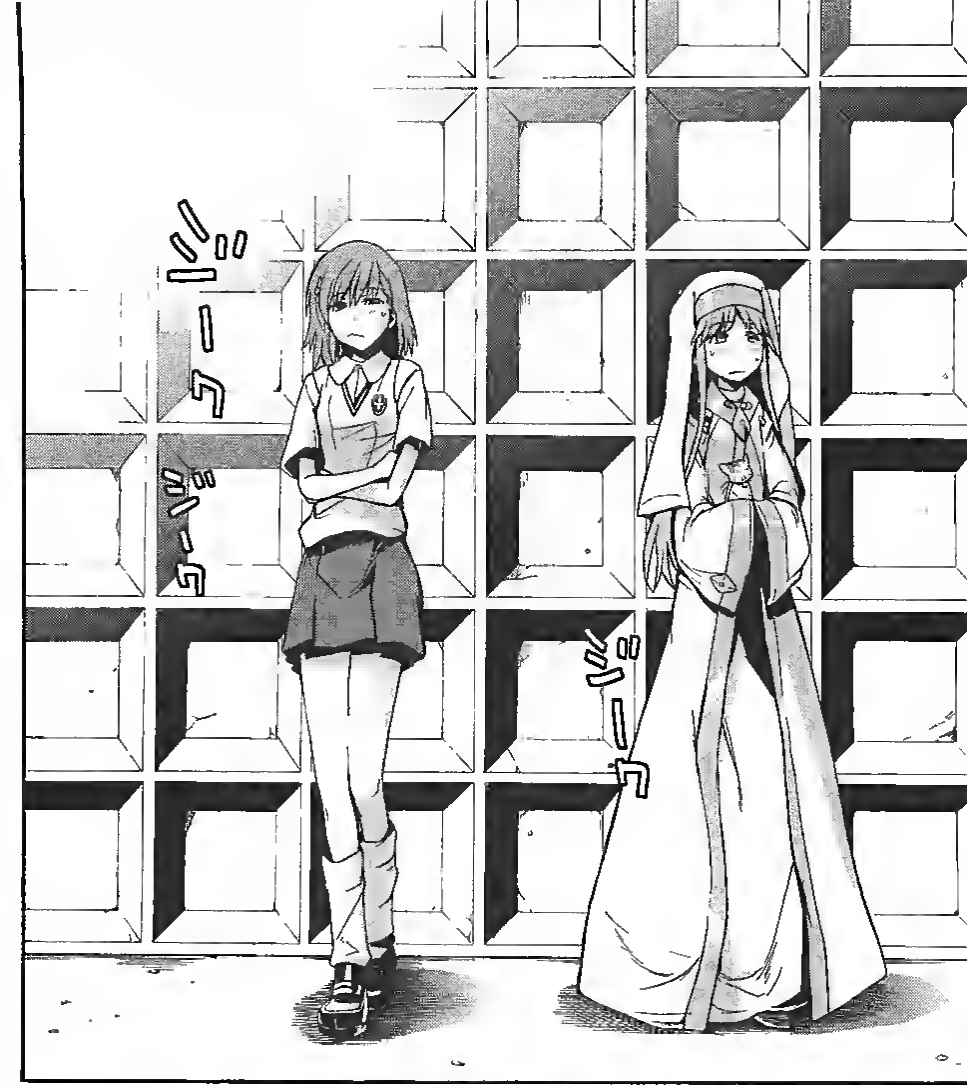
妙だ
あのシェリーとかいう魔術師
ターゲットへの執着心が薄すぎる
風斬という目的がありながらあっさり逃げに回りやがった
……と
俺も標的にされてたんだよな
戦争を起こすんだよ
だからできるだけ多くの人間に私がイギリス清教の手駒だって知ってもらわないと
なんでもいいけどね
ぶち殺すのはこのガキでなくてもかまわないし

禁書目録に
幻想殺しに
虚数学区の鍵
よりどりみどりで
困っちゃうわあ
逃亡したんじゃない
より襲いやすい標的に狙いを変えただけだ
インデックスか!!!

#41
新たな標的
ズズズ…
ズズズ…
ズキ！
ズズズ…

～～～忌々しい…
超能力者め！
こんな街があるからいけないんだ
消えて無くなってしまえ!!

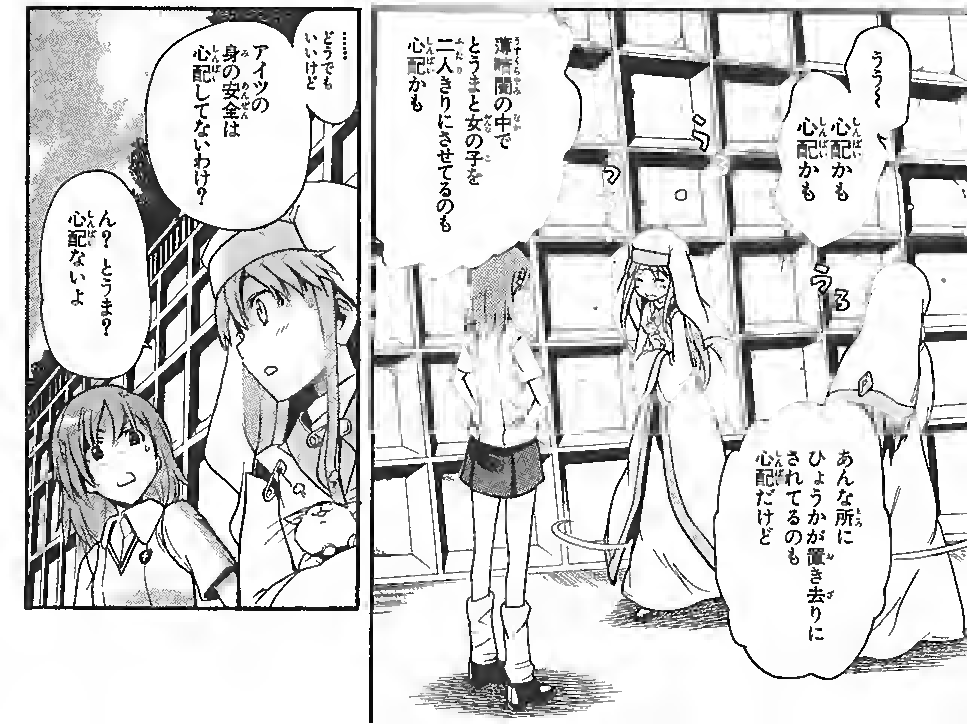
『エリス』
……あっついね
そうね


ジーク
ジーク
ジーク

ていうか
アンタの
その服は
なんなのよ？
この
クソ暑い中
長袖なんて
……
別に気にした事は
ないかも
この服も今では
すーすーと
風通しがいいし
あん？

うわっ
よくみたら
安全ピンで
留めてるだけ
じゃない！
なんてこんな
パンクな格好に
なっちゃってるのよ!?
うっ…
色々と
古傷があるので
深く言及しないで
欲しいかも……
？
にしても おっそいわねー
あいつら
うん――
あの魔術師 ひょうかの事
狙ってたみたいだし
本当に
なんにもなければ
いいけど
……

…？
まじゅつ？
たしか
あのバカも
そんな事
言ってたよーな
ひょうかってのは
一緒にいた女の子
の事？
…今回は
ね
あ
今回はとうまが
引っ張ってきたん
じゃないんだよ
うん
私が先に
友達に
なったん
だから！
ほほう


うう～
心配かも
心配かも
薄暗闇の中で
とうまと女の子を
二人きりにさせてるのも
心配かも
あんな所に
ひょうかが置き去りに
されてるのも
心配だけど
……
どうでも
いいけど
アイツの
身の安全は
心配してないわけ？
ん？とうま？
心配ないよ

とうまは何があっても
絶対帰ってきて
くれるんだから
ふーん
帰ってきてくれる
ときましたか
〝誰の元に〟？
なんてね

え？

なにこれ？

ひょっとして私

ショックとか受けてる？

そんな訳あるかぁ――!!

ドカ

あ――！

アンタはさっさとネコ捕まえてきなさい

いいわよここには私がいるから

私はネコに嫌われやすい体質だから追っても無駄だし…

ごめんね
そうしてもらえるとありがたいかも
ごうっ
スフィンクス！
スフィンクスってゆーのか…
どんなネーミングセンスだ
ゴゴゴ

だから
なんで
地下街の封鎖が
解かれないんだよ!?
もうさっきのヤツは
ここにはいないんだろ!?
地下街の管理と
ワチらとは管轄が
異なるじゃん
封鎖を解くには
もう少し時間が
かかるじゃんよ
クソッ

ああ
別にお礼を言われる事でもねーけど
お前体は大丈夫なのか？

――あ あの
さっきは…
ありがとうございました

あはい
…平気だと思います

あの……
石像はもう襲ってきませんよね？

あのすすけたゴス女は逃げたんじゃない
アイツの目的は俺や風斬を殺す事じゃなくて特定の条件さえ揃えば誰でもよかったんだ

アイツの次のターゲットはインデックス――！
!!
そんな…
でも…っ
それなら
あの人達に頼んで
保護してもらえば
……
インデックスはこの街の住人じゃない
ヘタに保護を頼めば警備員に逮捕されるかもしれないんだ
やっぱ行くならここしかねぇか
隔壁さえ開けてくれりゃ簡単に先回りできるってのに
ウチの寮でいや4階分の高さってトコロだな
…どうやって降りるか…

ゴクッ
大丈夫、です
あなたが行かなくても
助ける方法はあります
なんだって!?
化け物の相手は
同じ化け物がすればいいんです

あの石像に勝てるか
どうかは分からないけど
囮ぐらいにはなれます
私が殴られている
間にあの子が
逃げてくれれば――
つか野郎！
お前まだ
そんな事
言ってんのか！
いいか！
お前は化け物なんかじゃ
ねえんだよ!!
俺達が何のために
誰のために
ここまで
駆けつけたと
思ってんだ！
いいんです…！

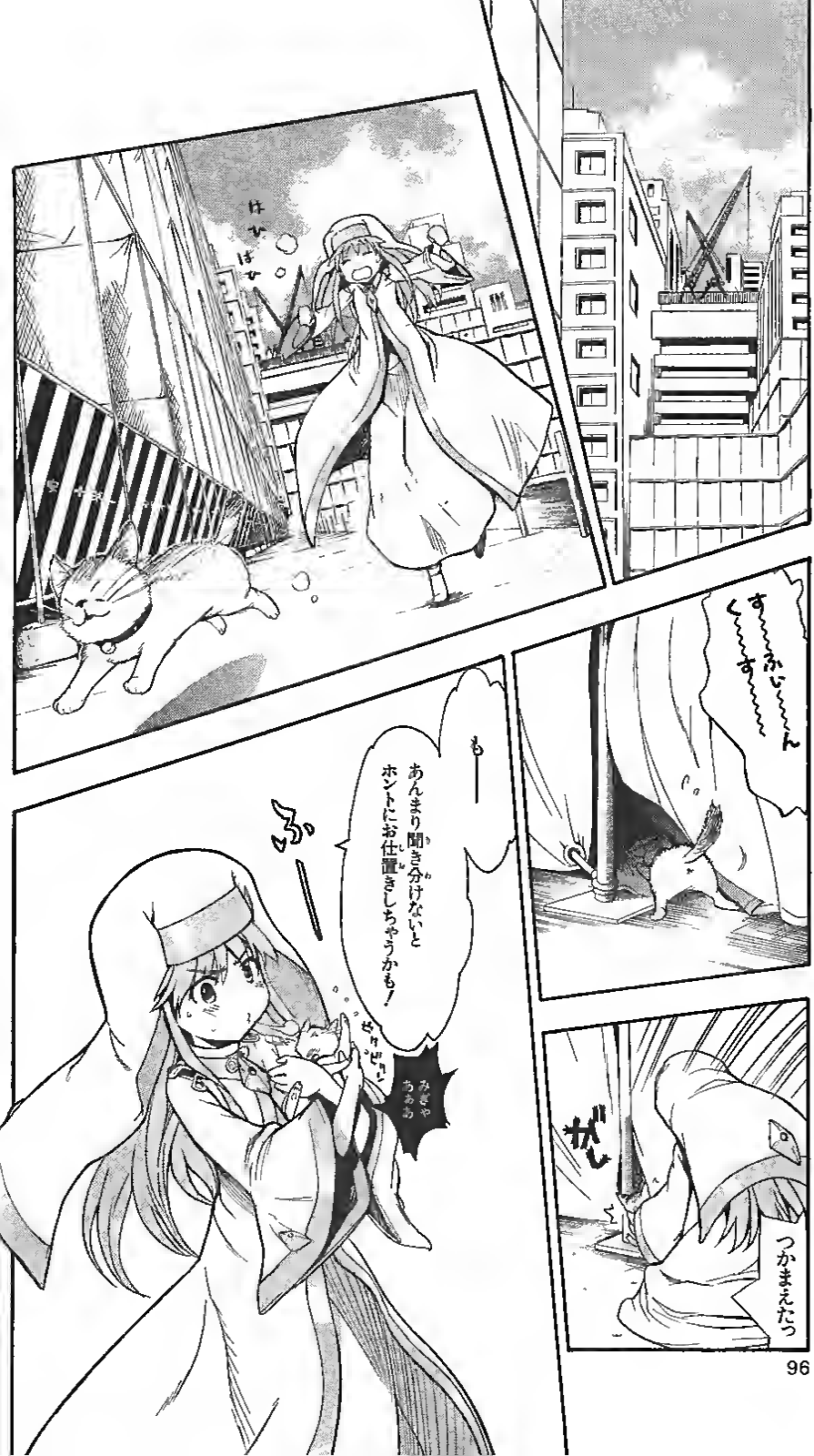
いいんです
化け物で
私は…
あの石像に何度
殴られても
死にませんでした

私が化け物だから
こそ……
あの石像に
立ち向かえる
んです

私は――
私の力で
大切な人を
守ります

だから
私は
化け物で
幸せでした
！しまった
右手は——

風斬(かざきり)!!


けびばび
すぅ～ふぃ～～ん
くぅ～すぅ～～
つかまえたっ
がし
もー
あんまり聞き分けないと
ホントにお仕置きしちゃうかも！
ふー
ぜったいに
みぎゃ
あぁあ

ホラ
短髪の所に
戻るよ
パラ
パラ
揺れてる……？
ガラン
ゲラ
ひゃわっ

＃42
陽炎の街

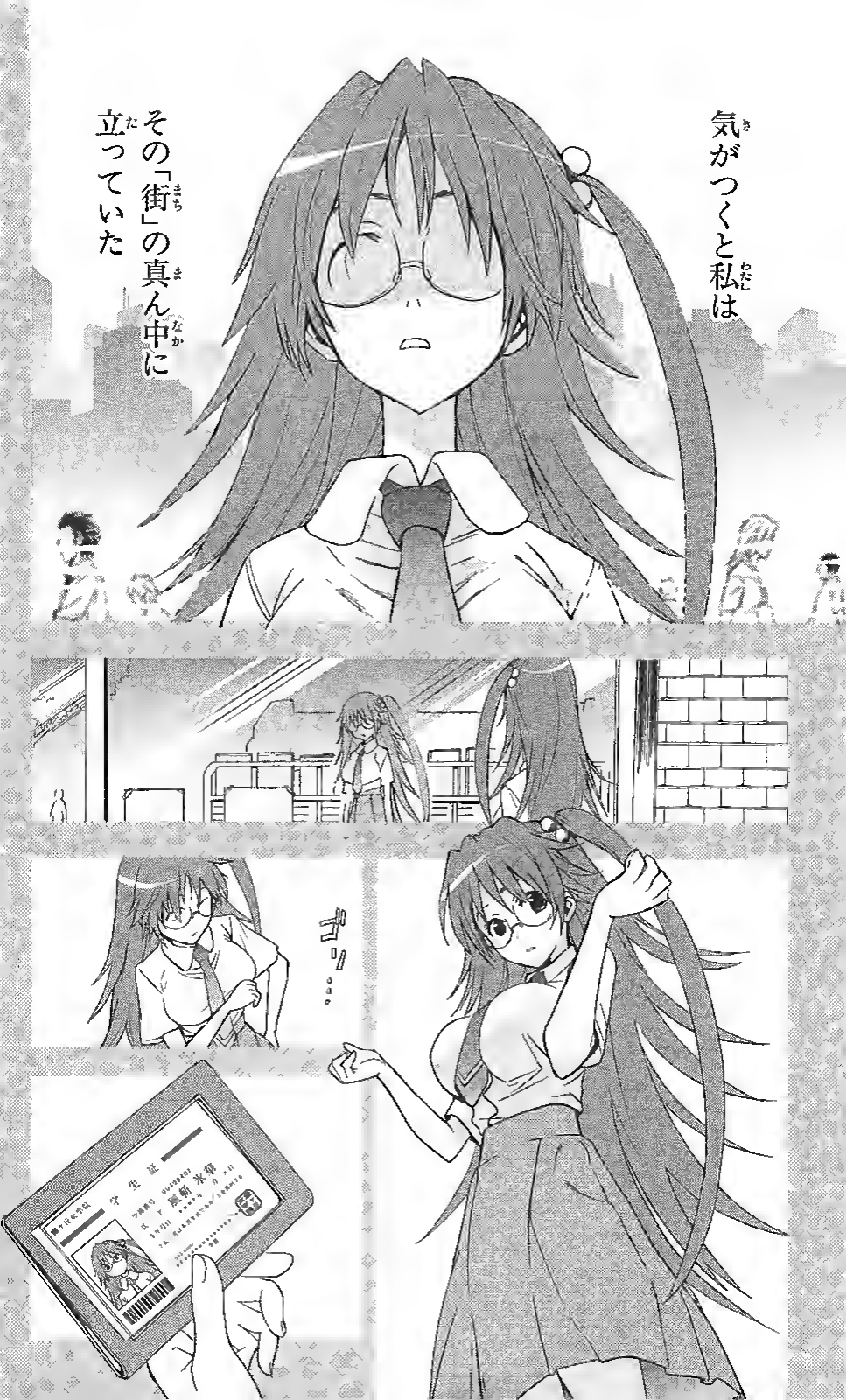
とある魔術の禁書目録

とあるおしまいのインデックス

気がつくと私は

その「街」の真ん中に

立っていた



カザキリ…
ヒョウカ――
あっ あの…
すみません
ここは――
どこなんでしょうか？
私…なんだか
ボーっとしてて
……

ここは陽炎の街
私が話しかけると
その言葉に応じて
姿形を変える
住人達

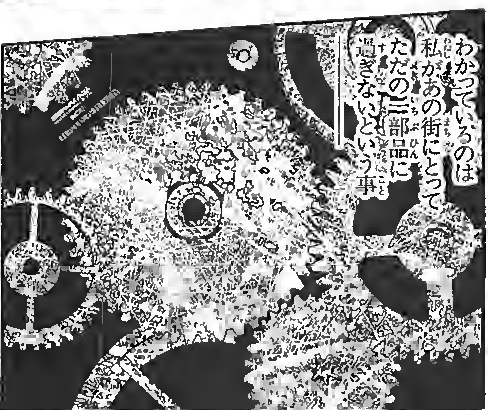
能力者達が放つ
ＡＩＭ拡散力場によって
作られた

学園都市とまったく同じ
座標に存在する
けれど学園都市とはまったく異なる
見えざる街

思い出した…
あれは私の…
最初の記憶――
いたっ
ズキ
パキ
パ
トコトコ
ほら
やっぱり
……平気

たっ

――あの日


わかっていたのは
私があの街にとって
ただの一部品に
過ぎないという事

何故自分が
陽炎の街に
立っていたかはわからない

私という「ゼンマイ」が
動く事で

「歯車」である住人達に
少しずつ少しずつ作用していき

やがて街全体という
巨大なカラクリ細工に命を
吹き込んでいく

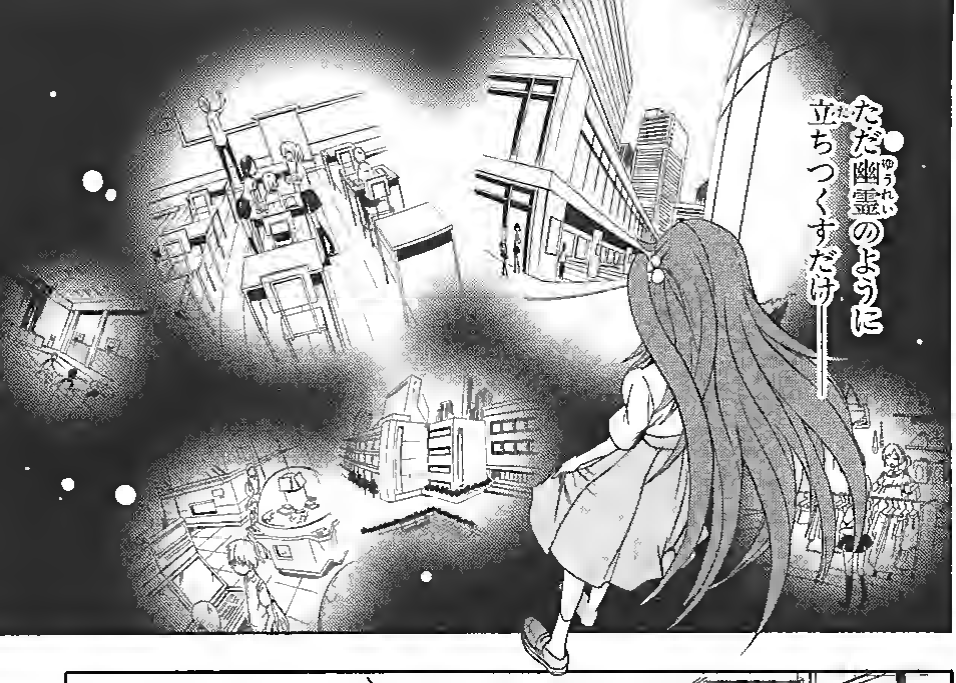
あそこでは
私が一歩踏み出すだけで
周囲に影響を与えてしまう

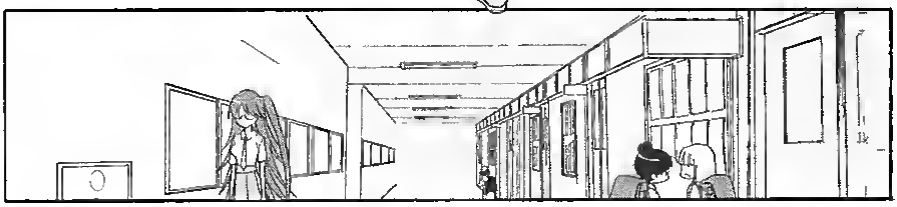
逃げ出したかった「外」の世界へ

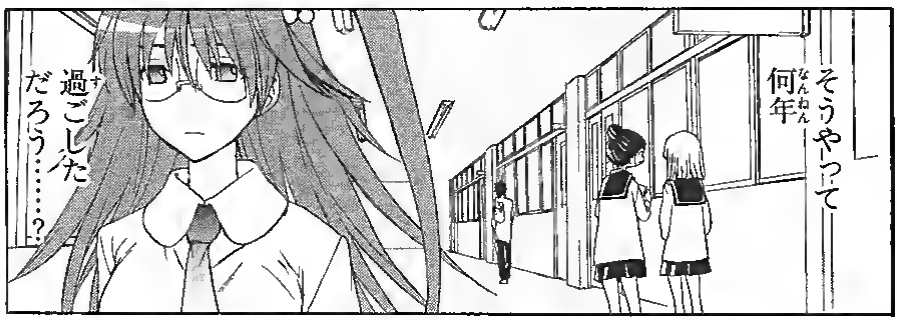
怖かった

学園都市へ

すぐそこにあるのに
「外」の世界に私の声は
届かない
次
移動教室
だよ
スゥッ…
いこいこー
えっと…
あ…の…
げっ
あと1分で
予鈴じゃん

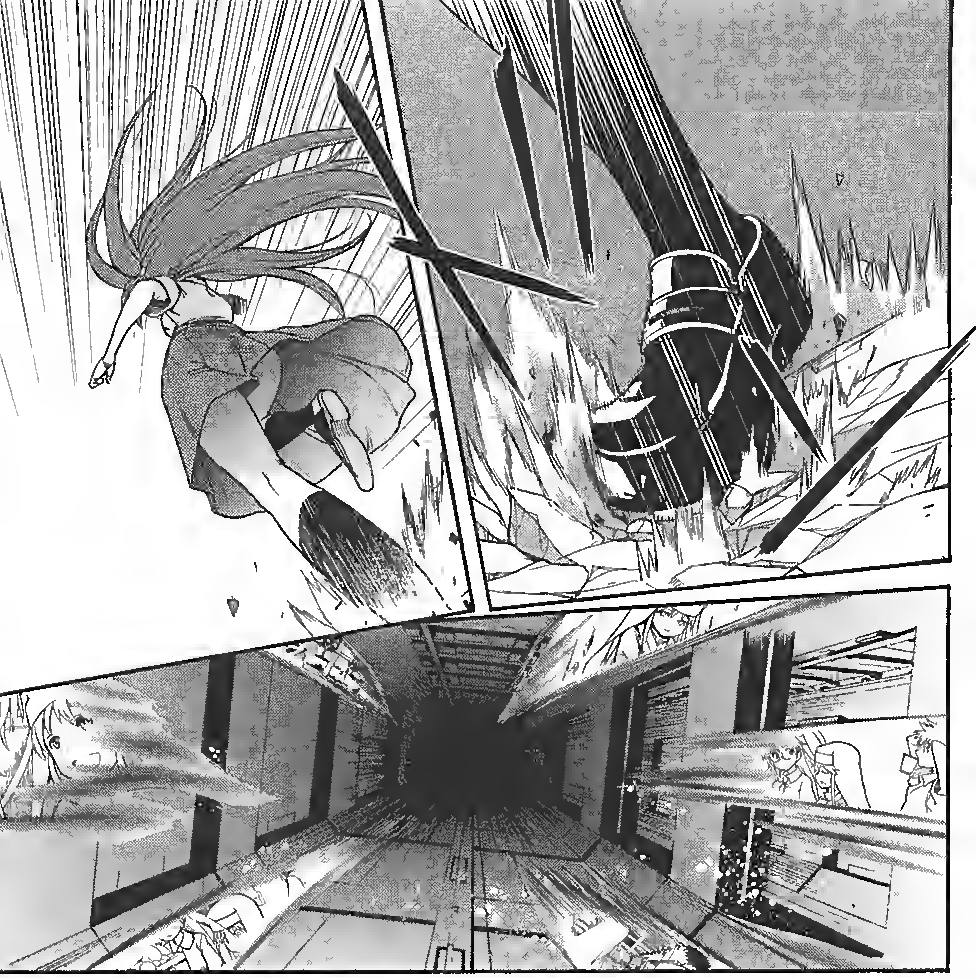

ただ幽霊のように
立ちつくすだけ——




そうやって——
何年
過ごしたんだろう……？

どっどっどうしよ～～
お金ものまれちゃったよ～～～～
ボタン…押さなくちゃ

ふえ？



うれしくて
たのしくて
一緒に過ごした最初で最後の
放課後は大切な宝物
私の
はじめての友達

守るから
絶対に
!!

基本理論はカバラ

ひゃあ

主要用途は
防衛・敵性の排除
抽出年代は一六世紀
応用性あり
オリジナルに
イギリス清教術式を
混合
言語系統は
ヘブライから英語へ変更
辺りに
魔術師の姿は
見えない
術式の構成からして石像は
自動制御ではなく
遠隔操作
それならば――

左方へ歪曲せよ
TTTL
上方へ変更せよ
UC FA
左脚を後ろへ
PiOB TLL
ガラ
ガラ

オン
オン

私は魔術は使えない
でも術者の放つ命令に横槍を入れて制御を混乱させる事ならできる
遠隔操作ならゴーレムを介してこちらの言葉も伝わっている！

強制詠唱（スペルインターセプト）
右方へ変更（CHANGE）
両足を交差（CROSS BOTH FEET）
首と腰を逆方向へ回転！（TWIST NECK AND HIP IN OPPOSITE DIRECTION）
ゴガッ

バキ
バキ
ブチ
ブチ
ブチ

このゴーレムは
周囲にあるものを
利用して自動的に
体を修復している
ならば逆に
体の構成に必要
ないものを
組み込んでしまえば
ズズン

ガッ
いけるかも！

きゃっ…
……右方へ――

まずい…かも
遠隔操作から
自動制御に
変更され
――!!

とうま……

ギシ

ダ

頼むから無事でいてくれよインデックス！

風斬!!

ドン
うふうふふ
ふ…
流石に簡単には潰れないわね

テメエ……!?
エリスを先に追わせてるわ
今頃は標的の元にたどり着いているかしら
それとも もう肉塊に変えちまってるかもなぁ
うふふうふ
いい加減に……しろよ
一体何考えてんだよテメェ
何でわざわざそれを引っかき回そうとするんだよ!?
なんか意味があんのかそれは!!
俺には裏方の事情はわかんねぇけどよ…
今は科学も魔術もバランスが取れてんだろ!?

聞いた事ないかしら？
超能力者が魔術を使うとどうなっちまうか
バランスが取れてるですって？
ふざけんなガキ
科学と魔術は本質的に相容れないモノなんだよ
な…に…？
試したのさ イギリス清教は
今から20年ほど前に
一人の超能力者の体を使ってな――!!

今から約20年前
イギリス清教と学園都市が
手を繋ごうって動きが
ウチの一部署で生まれてな
お互いの技術や知識を
一つの施設に持ち寄って
能力と魔術を組み合わせた
新たな術者を生み出そう
とした――

#43 エリス

シェルトが悲しんだのは
エリスの件がきっかけなので
素は内気で人見知りする
タイプだったかも
しれない。
まち妄想です。

〝エリス〟は私の友達だった
エリスは――
その時学園都市の一派に連れてこられた超能力者の一人だったわ

私は大人達の言うままに
魔術の術式を
エリスに教えた
その結果が

超能力者に
魔術は使えない
似たような異能の力でも
中身がまったく
異なるからな
無理に使おうとすれば
脳や神経、血管を中心に
体組織が破壊されちまう
運の悪い事にね
エリスが倒れた
ちょうどその時に
科学と接触する事を
心良く思わない連中が
施設を潰すために
やってきたの

エリスは
血まみれになりながら
騎士達の手から
私を逃がしてくれるために
棍棒に打たれて
死んだの
その
施設ってのは……
潰されたわ
同じイギリス清教の
手によってね
互いの技術・知識が
流れるのはそれだけで
攻め込まれる口実に
なるからな

私達は住み分けるべきなのよ
魔術師は魔術師の
科学者は科学者の！
それぞれの領分を定めておかなければ何度でも同じ事が繰り返されちまう

そのための戦争!!

クソ…なんかかみあわねーな
お互いを守るためなんだろ！戦争なんか起こしてどーすんだよ
…いや

実際に起こす気はねぇよな
テメェの目的を果たすためなら『戦争が起きそうになった』ってだけで十分だからな！
買いかぶってんじゃないわよクソガキ
ナニ哀れみの目で人を見てやがンだあ

地は私の味方
地に囲われし闇の底は我が領域
全て崩れろ！
泥人形のように

トンネルごと
潰す気か!?
それでテメェの体を
肉付けしてやる!
愚者を呑みこめ
泥の中へと練り混ぜろ!
これだけの数の魔法陣
一つ一つを右手で
消してくって訳には
いかねェぞ
どうする!?
じゃあ
とうまは
分かる?
イギリス仕込みの十字架に天使の力を
込める偶像作りのための術式の
方角と術者の立ち位置の関係とかノ
防護の魔法陣を置く場所は
少しでも外れると上手く
機能しなかったりするんだけど!
そういった
黄金比は
分かるのかな?

サンキュー
インデックス
――っ
そういう
ことか！
壁や天井に
描かれた
魔法陣は俺を
生き埋めにする
ためのものだ

なら
床にまで描く
必要はない！
この魔法陣は
こいつの身を
守るための
ものだ！

!? こいつ…
この短時間で防護陣を見破りやがった!?
…くっ!!
…縛まったか……?

ぐっ…
かうっ
……とめ…んな
バリバリ

戦争を
「火種」を
起こさなくちゃ
ならねぇんだよ
……

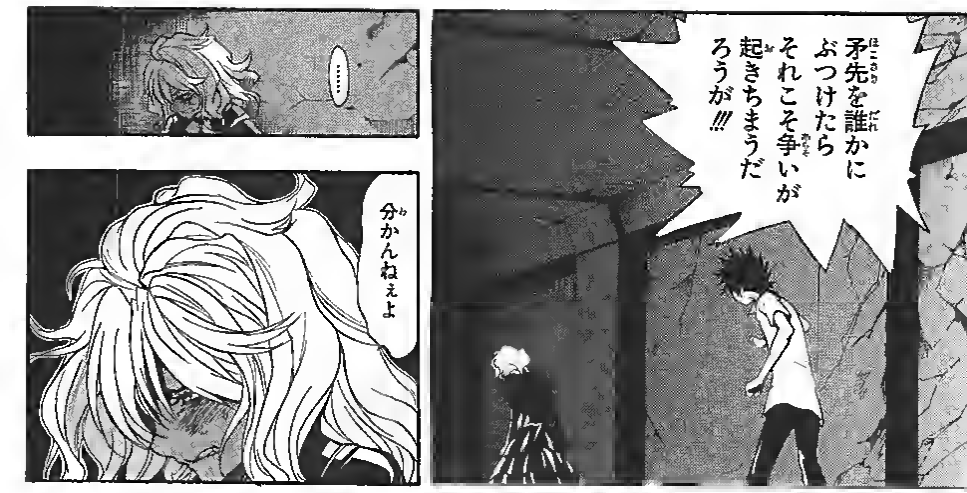
禁書目録を他所に
あずけるなんて甘えを
見せている…！
エリスの時と状況が
同じなのよ

今の学園都市は
ガードが緩く
なっている
イギリス清教
だって…

くっだらねぇ

私達の時でさえあれだけの
悲劇が起きた
これが学園都市とイギリス清教
全体なんて規模になったら…

怒るのはいい
哀しむのだって…
けどな
風斬がなにをした？
インデックスがお前になにかやったのか!?


矛先を誰かにぶつけたらそれこそ争いが起きちまうだろうが!!!
……
分かんねぇよ

憎いんだよ
ちくしょうっっ
エリスを殺した人間なんて
魔術師も科学者もみんな
ぶっ殺してやりたいわよ!!!

だけど
それだけじゃ
ねぇんだよ…
本当に魔術師と科学者を
争わせたくないとも
思ってんのよ…!

頭の中なんて…
初めから
ぐちゃぐちゃなんだよ
信念なんて一つじゃねえ
星の数ほどあるんだ!
たった一つのルールにしばられて
ゼンマイ仕掛けの人形みたいな
生き方なんてできないわよ

確かにお前の言葉は無茶苦茶だ
言ってる事は正反対だし
けどな……
なんで気づかねぇんだ？
結局お前の中にある信念なんて最初から一つきりしかねぇんだよ
――っ
お前は大切な友達を失いたくなかっただけなんじゃねぇのか？
お前泥の目を使って俺達を監視してたよな
どう映った？
俺が滅々インデックスに付き合わされているように見えたのかよ
互いの領域を決めて住み分けしなくちゃ争いを起こすように見えたのかよ!?
俺達はそんな風にしなくたってずっと一緒にやっていけるんだ!!

だから…
俺から大切な人を奪わないでくれ……!!
我が身の全ては亡き友のために!!!

死んでしまえ超能力者ァ!!!
あぁ
そうか
この攻撃はおそらくシェリー＝クロムウェルの切り札じゃない
星の数ほど信念があろ
矛盾する主張全てが本当の気持ちから
お前は
お前の中にあろ

自分を止めて欲しいって気持ちも

理解できてるって訳か

エ
リス
まずい…かも
遠隔操作から
自動制御に
変更され
――〃

ヤ

ひょうか……？
その足は――
逃げて

ここはまだ…
危ないから
ギ
ギ
ギ
バタ
バタ
バタ

ゴゴゴゴゴ
わっ
わっ
さっきの一撃でゴーレムの再生機能が暴走しているかも…!?

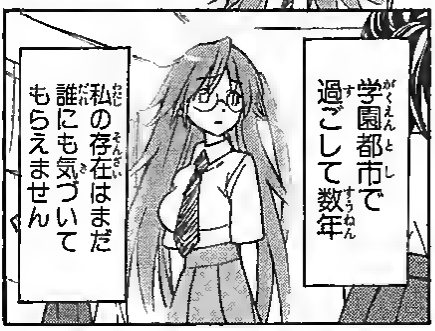
ひょうか
ひょうかも
早く逃げよう！
私は……
あの化け物を
止めないと…
そんなの
無理だよ
あんな化け物真っ向から相手にしたら
絶対に助からないよ！
ひょうかが無理して
戦わなきゃいけない理由なんて
どこにもないんだから
大丈夫
私も
化け物だから

……
ごめんね
ごめんね
いままで
だましてて
……うそ

ぐ
ぐ
ぐ

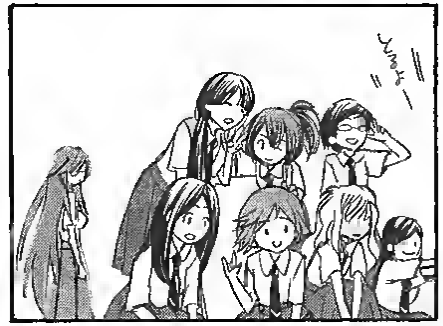
#44
明日(あした)、また

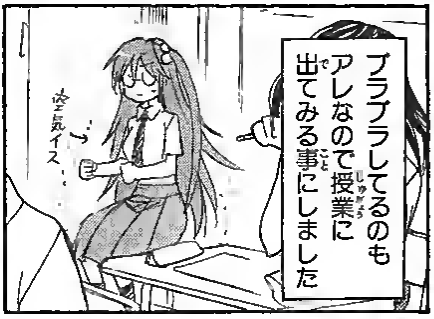
暇を持て余した風紀水華さんの遊び



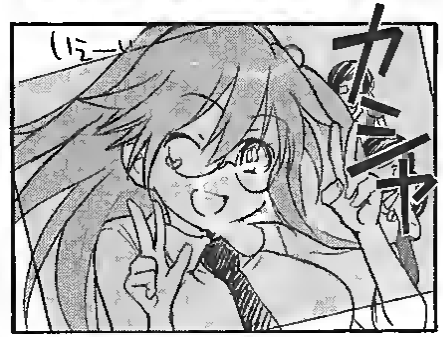
学園都市で過ごして数年

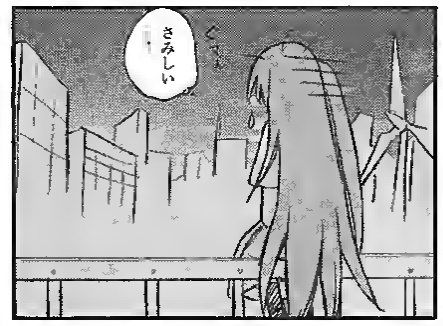
私の存在はまだ誰にも気づいてもらえません





ブラブラしてるのもアレなので授業に出てみる事にしました





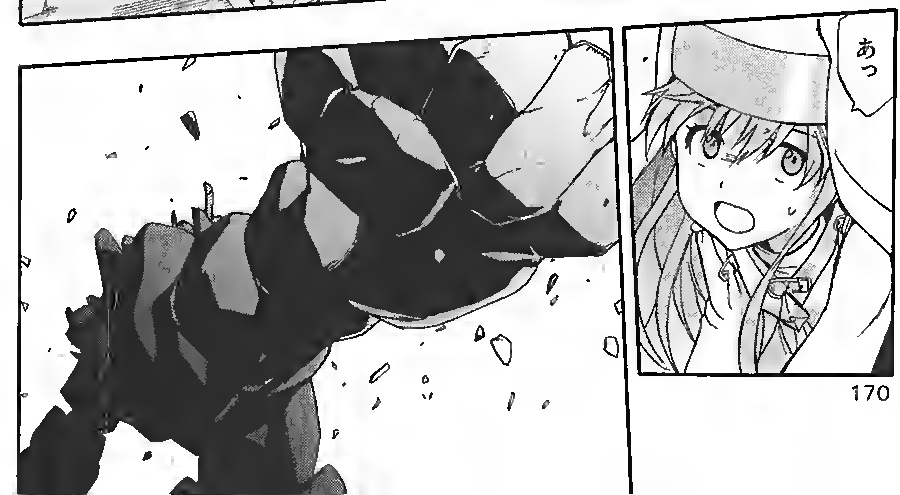
さみしい

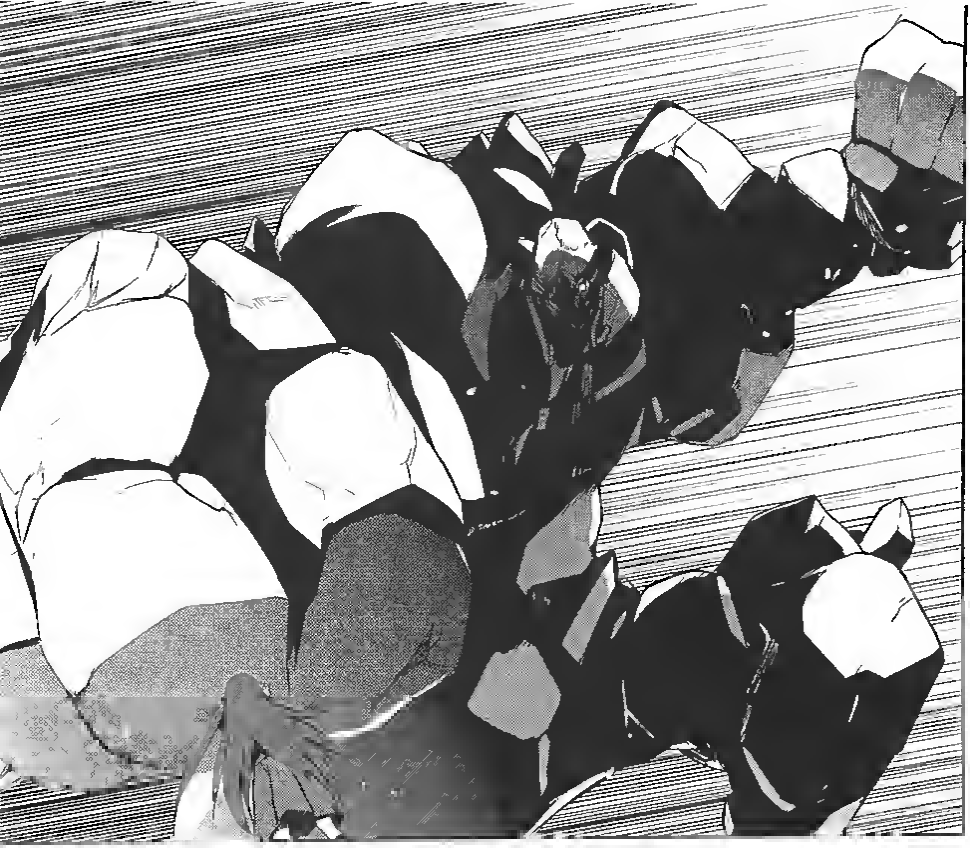
ビリ
ビリ
ビリ
〜〜〜ッッ

うぁ
あぁぁ!!

ふぎゃあ
しゃアアあ
ひょうか…

もう
戻れない
だからって
この手を離せるはずがない
友達だから


あっ



最後まで
友達でいたかったから
ひょうか

いいぞ
いいぞ
いいぞ

どうしよう

終わった…

これでもう
優しい幻想はおしまい、なんだ……

うわ
どーなっちゃってんの？この状況

ちょっと！
コレも例のテロリストがらみな訳？
後の事は警備員にまかしとけばなんとかしてくれるだろ
ああ
その件ならもう心配いらねーよ
そーなの？
まあハデにやってくれた割にケガ人は見あたらないし
いーけどね

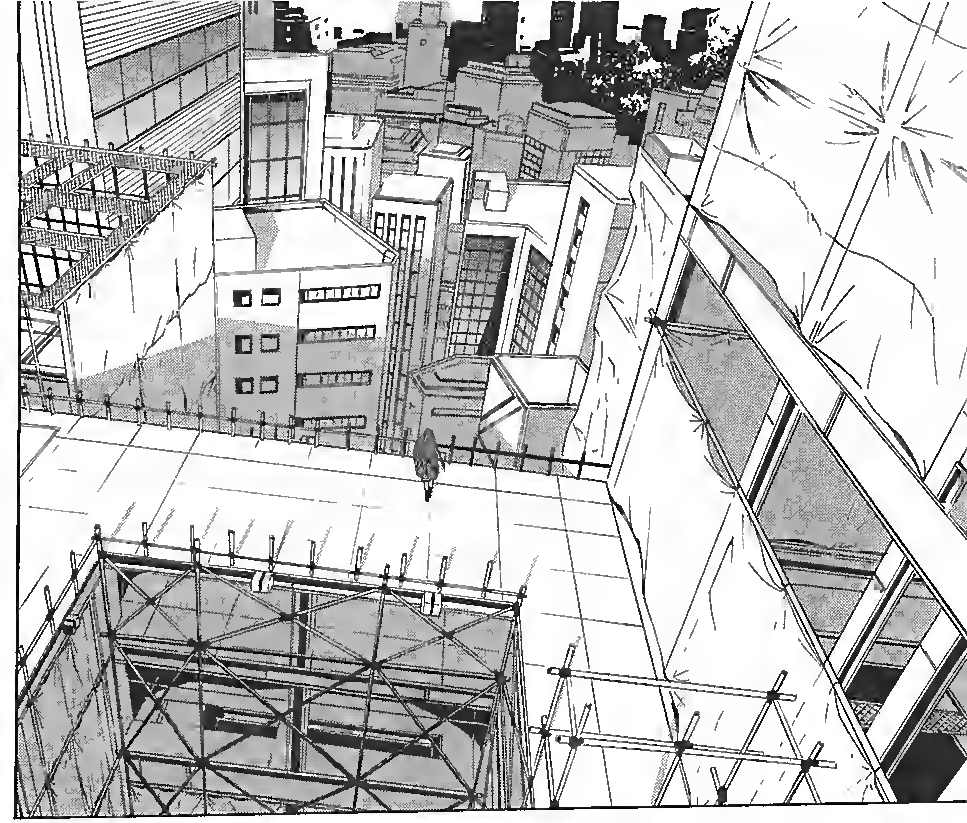
……
まだ
みつかって
ないんだ
ラッパノスケ
いいや
なっ…
なにかあったの？
!!

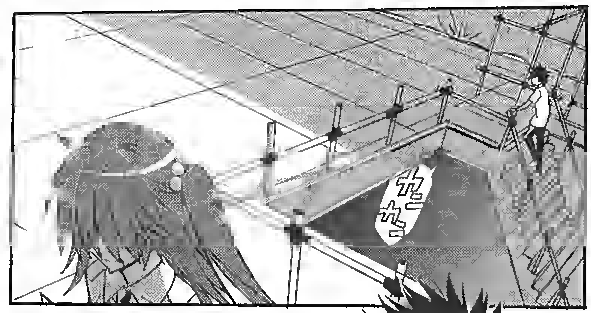
おねえさまぁ——
こんなところでお会いするなんて！
あれほど避難場所から動かないようにっていいましたのに～～～

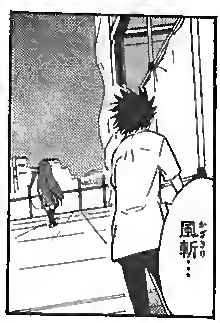
はっ
……この惨状
まさかお姉様が？

はい？
ちちが……
最初にかけつけたのがわたくしで良かったですわ
遠からず他のジャッジメント風紀委員や警備員も集まってきますわよ
厄介な事にならないうちに逃げましょうささっ

だから！
ちがうってば
私じゃないっ
ってんでしょ
またこのパターンか！
くろこおおおお！
あーあ
色々と
めんどくせーなぁ
……

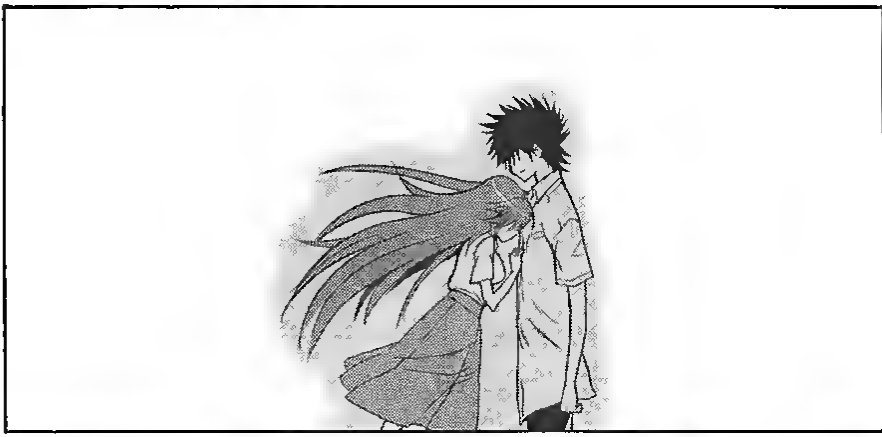


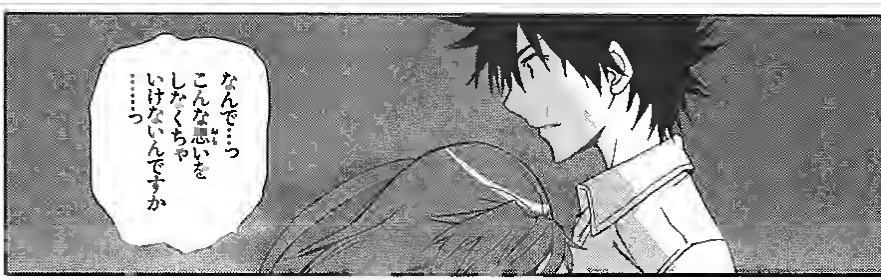

ガヒ


風斬…

うっ嬉しいから……ですよ
だって……私は私の持てる力を全部使って…
大切な友達を守る事ができたんですよ…
だ だから…嬉しいから
泣いてるに…決まってるじゃないです…か
どうしてそんな顔するんですか？
笑ってくださいよ
ほめてくださいよ
…それでちょっと嫉妬してくれればスパイスとしては最高です…
私は……あなたのナイトとしての役目を横から奪っちゃったんですから……

あはは
なにを言ってるんでしょうね
私
だって当たり前じゃないですか
誰でも分かるじゃないですか
こんな化け物の自分が正体を明かせば……
どうなるかって事ぐらい……
初めから…
分かってはいたんですよ
ふ
…う




なんで…っ
こんな思いを
しなくちゃ
いけないんですか
……っ

ずっと一緒にいたかった
きっと仲良く
なれるって
思ってた！
私が人間だったら
こんな事には
ならなかったんですか!?

だけど仕方ないじゃないですか
怖がられても嫌われても
私は…友達って生まれて初めて友達って言ってくれた人を…助けたかったんだから……っっ!!
苦しいのか
うぅぅぅぅ…
哀しいのか?
うぅ……ッ!
そう思えるならお前は化け物なんかじゃねぇよ

月並みでベッタベタのセリフかもしんねぇけどさ
お前は人間だよ
俺が保証してやる

お前の幻想はまだ終わっちゃいねぇぞ
――それからな
コツ

な…んで
おかしいじゃないですか…
わた…私は人間じゃないんですよ?
なのにどうして
あの子は…私を見てあんな……

ひょーかぁ……！

ほらっ

見てください
よ――
今回俺って
入院とか
してないじゃ
ないですかー
これって一つの
成長進化ですよね
うわー
スゲーわ俺
上条ちゃん！
あなたとゆー人は
他人様に迷惑を
かけた事は
ノー眼中なの
ですか!?
まったく警備員さんの
お世話になるなんて……
もう！
後でキッチリ
お説教ですからねー
…だから
「風斬氷華」には
警戒せよと
注意しておいたのに

先生の言う通り
笑ってられるような
状況ではないからね
一歩間違えれば
君の拳は複雑骨折
していたかもしれないんだよ？
い？

――
わからない事が
いくつかあるのです

……うっ
そういわれると
急に痛みが……

わからない事？
はいー
まず一つ目
カザキリヒョウカさんは
どうして上条ちゃんの近くに
「出現」したのでしょうか？

AIM拡散力場で
満たされた学園都市の
中でならどこに「出現」
してもおかしくなかった
はずなのに
……まあ
偶然と言われて
しまえばそこまで
なんですけど

次に二つ目
姫神ちゃんの言う
「カザキリヒョウカは
虚数学区・五行機関の
鍵を握る」というウワサは
結局どういう事
だったのでしょうか？

最後に三つ目！
何故テロリストさんは今日『出現』したばかりのカザキリヒョウカさんを正確に狙ってこれたのでしょう!?
その存在は学園都市にいる私達でも気づかなかったはずなのに
情報源は学園都市の中のかなり深い所にいると思うのです――
すべて偶然で片付けるのは
やっぱり不自然なんですよね――

——これで満足か？

かくして人間は駒のように操られ

また一つ虚数学区・五行機関を掌握するための鍵が完成に近付いた、という訳だ

まさかその正体がAIM拡散力場そのものだなんて誰も思わんたろう
学園都市に住む一八〇万人もの学生の周囲に自然発生する力が虚数学区を作っているなどと

まったく…
あくまで一部分とはいえあんなものを人為的に自我を植えつけて実体化の手助けをするなど正気の沙汰とは思えんな
虚数学区にとって唯一の脅威は幻想殺しだ
幻想殺しという死への恐怖は自我を生む
何をするか分からない無自我状態よりもあえて思考能力を与えた方が行動を予測できるし制御もしやすい
――なぜそこまでして

待て…よ
虚数学区はそこにあるのに見る事も触る事もできず
人間とは別位相に存在する、ある種の力の集合体によって構成される生命体
オレはその存在を知っている
天使
虚数学区の住人が——例えば風斬氷華が『天使』と表現されるのなら
彼女達が住んでいるとされる『街』とはつまり
アレイスター
お前はまさか…っ
人工的に天界を作り上げるつもりか！

さて、ね
言っておくが私は教会世界を敵に回すつもりは毛頭ない
魔術師・アレイスター＝クロウリー
そもそも天使などと言うものはオカルトの領分だろう
私には専門外だ
ぬかせ
お前以上に洋しい人間がこの星にいるか
そうだろう？
そう
準備はとうの昔に完成している

一万弱もの人工能力者『妹達』は治療目的という名目で世界中の協力機関に送られている

未だ未完成の〝鍵〟さえ完全に制御できる様になれば

学園都市限定で展開されていた虚数学区は『妹達』をアンテナにしてそのまま全世界を覆いつくす事になる

〝人工的な界〟

それは既存の「天界」や「魔界」といった言葉には当てはまらない

十字教にも仏教にもカバラにもヒンドゥーにも属さない

まったく新しい『界』の出現は世界の魔術環境を激変させるだろう

教会を敵に回すつもりはないと言うがな

今回の件聖ジョージ大聖堂の面々は黙って見過ごすとは思えんぞ

イギリスの清教のメンバーをわざとこの街に招き入れて撃退したんだからな！

…お前に一つだけ忠告してやる

『レイスター』

えっきり負け惜しみになるがな

あの幻想殺しを
利用するなら
覚悟しろ
生半可な信念で
立ち向かえば
あの右手は
お前の世界を
食い殺すぞ
…ふむ
私の信じる世界など
とうの昔に
壊れているさ

とうまおそいなー
へいきかなー
…うん
あ、あの…
ヒラ
うん？
スカート……直さないの？

それって…すごく大胆っていうか
なんか無防備だよ
そう？
ゴタゴタしてたし後回しでも良いかなって思ってたんだけど
この格好ってそんなに変かな？
へ 変かも
すごく変かも
ただでさえ怪しいのに……
〝ただでさえ〟？
ひひょうか？
ゴシ
いまの…
うん…
私の体は言ってしまえば超能力の塊みたいなものだから
不安定な存在である事に変わりはないの……

うぅん
違うよ
あの人の力の
影響は受けて
いないよ
もし仮に受けたと
したら…
私はその瞬間に
跡形もなく消えて
いるはずだもの……
へ？
私も詳しくは
…分からないん
だけとね…
ひょうか！
どこ行くの
超能力だけでは
……
説明できないの
あの人の力に
ついては

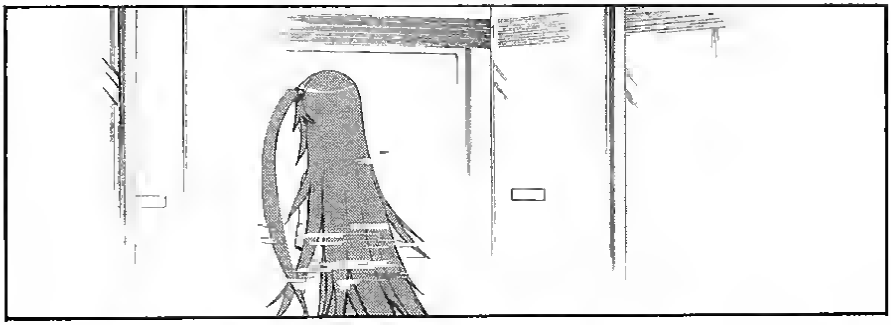
・・・・・・
もう帰らないと
そんな顔しないで
心配しないで
――大丈夫
私の体が
消えたって
死ぬ訳じゃないの
ただ姿が見えなく
なるだけ……
触れられなく
なるだけ

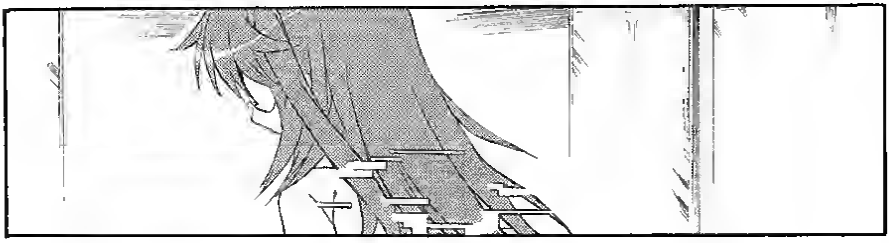
たとえあなたには
分からなくても
私はずっと側にいるから

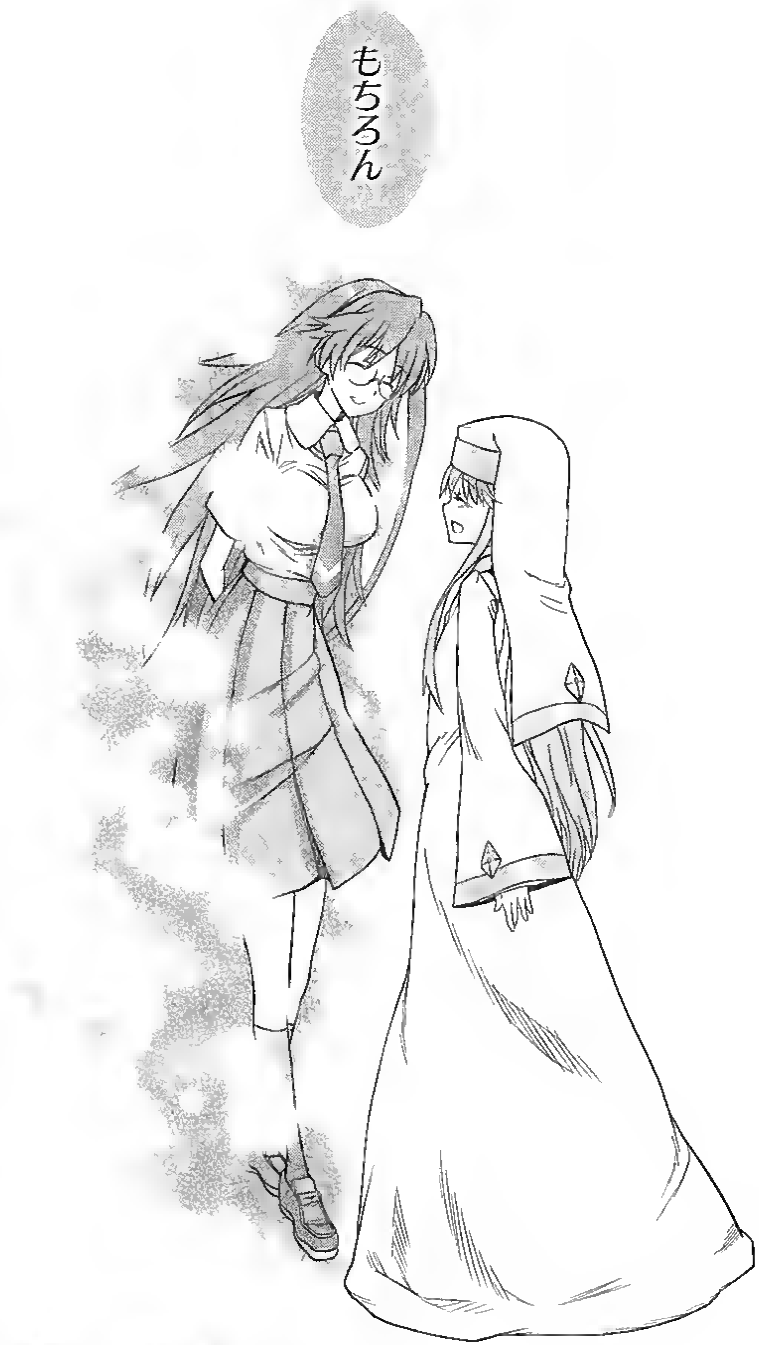
ひょ…
ひょうかっ

明日も
……
明日も
一緒に遊んで
くれるよね？

掲載・月刊少年ガンガン平成22年11月号～平成23年4月号







とある魔術の禁書目録8　おわり

ガンガンコミックス

とある魔術の禁書目録インデックス

とあるまじゅつのインデックス

とある魔術の禁書目録 8

2011年6月22日
初版

原作/鎌池和馬
作画/近木野中哉

©KAZUMA KAMACHI/ASCII MEDIA WORKS
©2011 Chuya Kogino/SQUARE ENIX

発行人
田口浩司

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

〒151-8544　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル3階
〈内容についてのお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0835
〈販売・営業に関するお問い合わせ〉　TEL 03(5333)0832
FAX 03(5352)6464

印刷所　図書印刷株式会社

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。乱丁・落丁本はお取り替え致します。大変お手数ですが、購入された書店名と不具合箇所を明記して小社出版業務部宛にお送り下さい。送料は小社負担でお取り替え致します。但し、古書店でご購入されたものについてはお取り替えに応じかねます。定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan

ISBN978-4-7575-3223-6 C9979